

1 開催日時 令和6年1月23日(火) 10:30～11:45

2 場所 志木市立宗岡第二中学校 校長室

3 出席者

本間 健	那須 博志	渡邊 雄一	伊藤 大輔
【事務局・記録 太田 伸哉】			(計4名)

4 協議内容

(1) 学校評価について(教職員自己評価及び学校関係者評価)

校長・提示した教職員自己評価を元に、学校関係者評価を依頼したい。

委員・全ての評価項目について、経年変化を捉えていきたい。

【目指す学校像】

- ・項目1「学校は、『学校教育目標』の達成に努めている。」
⇒教職員の職務に取り組む姿勢が素晴らしく、保護者の評価も高いため”A”と評価する。
- ・項目2「学校は、学力向上や生徒指導上の課題解決のため、生徒保護者に適切な指導・アドバイスを行っている。」
⇒適切な指導・アドバイスを行っていると感じるが、さらによくするという姿勢を維持してもらいたい。
- ・項目3「学校は、生徒や保護者にとって魅力と活気ある行事になるように努めている。」
⇒工夫した行事が運営されており、保護者の評価も高いが、複数の生徒が行事を楽しめていないと答えている点を課題と捉えてもらいたい。

【目指す生徒像】

- ・生徒は状況に応じて互いに声を掛け合い高めようとする姿勢が見られると感じるため、もう少し評価が高くてもよいのではないか。
- ・項目8「生徒の多くは、自分の目標を持ち、自分を高めようと努力している。」
⇒生徒は「自分のよさや特性を生かし、学校生活をがんばっている。」という項目について肯定的な自己評価をしている。目指す生徒像を捉え直し、評価項目を修正する必要もあるのではないか。
- ・項目9「生徒の多くは、誰に対しても明るく気持ちよくあいさつしている。」
⇒声に出すあいさつができなくても、目が合えば自然と会釈ができる生徒に育ててもらいたい。(教員が手本を示す)
- ・項目12「生徒の多くは、清掃やボランティア活動に進んで取り組み、奉仕や貢献をしている。」
⇒清掃・ボランティアは別の項目で評価したほうがよい。

志木市立宗岡第二中学校 議事録1

このサイトの全てのコンテンツについて、無許可の転載、複製、転用等は御遠慮ください。

【目指す教職員像】

- ・教職員が互いに連携し、真摯に職務に取り組んでいる姿が素晴らしいと感じている。
- ・項目 15「あなたは、わかりやすい授業をするように努めている。」
⇒教員一人一人が様々な工夫を凝らした授業を行っている。
- ・項目 16「あなたは、ICT機器（タブレット端末等）を活用した授業の充実に努め、生徒の学習意欲の向上に取り組んでいる。」
⇒道具としてのICT活用ができるとよい。板書をノートに写す等、ICTを用いない従来の学習も大切である。
- ・項目 19「あなたは、時と場に応じた言葉遣いに配慮し、教師と生徒との適切な距離がとれている。」
⇒「適切な距離」は、精神的な距離と、身体的な距離の両方の捉え方ができるため難しい。場に応じて使い分け、距離を縮めたり体に触れたり必要がある場合は生徒に説明することが大切である。

(2) 学校運営状況について

- 校長・生徒は落ち着いて生活し、新年度に向けて準備できている。
- ・教員はチームワークよく教育に取り組んでいる。
- ・人事評価に係る面談を実施している。面談の中で本校の「強み」「弱み」を尋ねているが、「地域とのつながり」を挙げている教職員が多い。

(3) 小中一貫教育について

- 校長・小中一貫教育の実施に係る準備時間等確保のため、週時程や教育課程等の工夫について検討している。

5 連絡事項

- ・今後の開催予定

6 次回の開催日程

令和5年3月8日（金） 10：30～ 場所：志木市立宗岡第二中学校 校長室